

第69話 訴訟の多発と困窮民

中山町 歴史散策

天保年間以降になると、村山郡にも貧農や下層民が増加し、飢饉や米価騰貴を理由に、しばしば各地に「騒立」が起りました。また、無宿者や「悪党」と呼ばれるものの乱暴が日常化していたことも「郡中議定」の中から読み取れます。

これは、領地が錯綜していることや所領替えが頻繁に行われたことにより、権力が不在と言われる地方に多く、村山郡の中でも特に天童から東根地方にわたる川東地帯が著しいものでした。

この地方では、すでに享和元年（1801）に「村山一揆」と呼ばれる大い揆が起り、それに参加した村は約100カ村にも及びました。また、幕末の慶応2年（1866）、東根地方の山間村に起こった兵蔵騒動と呼ばれる、いわゆる世直し騒動が有名です（「山形県史」第三巻）。

このような大きな騒動が一挙に起こったのではなく、前提として各地に村方騒動が頻発していたことにあり、具体的に起った小作料の納入問題や村役人の不正をめぐることが中心でしたが、やがて要求は多岐にわたったり、運動も広範囲なものとなりました。

幕末の大きな騒動は、西村山地方や中山町地区には及びませんが、地主・小作問題は多数発生しており、一例を挙げれば、弘化2年（1845）3月、長崎村柏倉文蔵が金沢村の小作人長太郎を請人2人とともに「小作年貢」の滞納を柴橋役所に訴えた1件がありました。

的には豪農と小作・貧農の間に起った小作料の納入問題や村役人の不正をめぐることが中心でしたが、やがて要求は多岐にわたったり、運動も広範囲なものとなりました。

幕末の大きな騒動は、西村山地方や中山町地区には及びませんが、地主・小作問題は多数発生しており、一例を挙げれば、弘化2年（1845）3月、長崎村柏倉文蔵が金沢村の小作人長太郎を請人2人とともに「小作年貢」の滞納を柴橋役所に訴えた1件がありました。

【用語の説明】

一揆：日本において何らかの理由により心を共にした共同体が心と行動を一つにして目的を達成しようとすること。

また、そのために盟約、契約を結んで政治的共同体を結成した集団および武力行使を含む抵抗運動をいう。

※参考 中山町史 中巻
第8章第1節 郡中議定の締結と推移

栄養バランスを考えよう パイキング給食を体験



11月14日、豊田小学校6年生の児童がパイキング給食を体験しました。

児童たちは、栄養教諭の石山先生からバランスのよい食べ物の選び方のポイントを教わり、五目ちらし寿司、とりの唐揚げ、サラダなどたくさんの料理の中からそれぞれ好きなものを選び、お皿に盛り付けていました。

自分で栄養バランスや盛り付けを工夫するという、いつもとは違う給食に大満足の児童たちでした。

秋のお楽しみ会へようこそ！ 1年生が年長児を招待

11月27日、長崎小学校1年生の児童がなかやま保育園の年長児を小学校の体育館に招待し、「秋のお楽しみ会」を開催しました。

会場には、生活科の授業で作ったどんぐりや松ぼっくりなど「秋のもの」を使ったアクセサリや楽器が展示され、1年生は保育園のお友だちの手をひいて各コーナーを案内し、作品について説明していました。「4月になったらまた一緒に遊ぼうね」と語りかけるなど、頼もしい姿を見せていました。



柿はおいしいだけじゃない！ 地区施設の外壁塗装を体験



現在、岡地区文化センター南側に、消防のポンプ庫を兼ねた防災コミュニティセンターを建設しています。

その防災コミュニティセンターで、11月3日、「柿渋」を使った塗装体験が行われ、岡地区の子どもたちとその保護者が参加しました。

「柿渋」とは、文字通り柿の渋い成分を抽出・発酵して得られる茶褐色の液体で、塗料として木材の保護や防腐のために使われます。

大泉彩乃さん（豊田小）は「初めての経験で、柿渋を薄くまんべんなく塗るのが難しかった。私たちが大人になっても残るものなので、防災コミュニティセンターを見るたびに今日のことを思い出そう」と話していました。

地区施設の建設の一部に関わることができ、子どもたちにとっていい思い出になったようです。



白い木板は、柿渋を塗るとこんな色に！

寄附ならがユニバースまつ

◆青少年健全育成県民大会で、秋葉典子さん（新田町）が「青少年団体育成功労者賞」を受賞しました。秋葉さんは、今年6月まで青少年育成町民会議の会長を務められ、青少年の健全な育成環境づくりに尽力。その功績が認められ、今回の受賞となりました。

◆「第32回全国中学生人権作文コンテスト山形県大会」で、水野詩織さん（中山中学校3年）が佳作に選ばれました。

◆「平成24年度山形県小学生人権書道コンテスト」で、齋藤伽奈さん（長崎小6年）と海野菜桜さん（豊田小6年）が山形協議会奨励賞に選ばれました。

寄附ならがユニバースまつ

◆長崎小学校にタニイチ食品株式会社（宮城県塩釜市・渋谷秀夫社長）から揚げかまぼこ「たちちゅう」600個を寄附していただきました。創業者の渋谷辰雄氏が旧長崎小学校の卒業生であり、後輩に自分の会社で製造した食品を食べてもらいたいとのことで、毎年いただいております。

◆11月2日、山形農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会山形県本部から、道路の安全確保に役立てて

ほしいとカーブミラー4基が寄附されました。

交通安全対策の一環として昭和48年から寄附していただいております。町へのこれまでのカーブミラーの寄附は188基にもなりました。

◆次の方からふるさと納税として寄附金をいただきました。



- 石澤亮司さん（千葉県）…2万円
- 松田広光さん（東京都）…1万円
- 青山泰長さん（愛知県）…1万円
- 大津弘一さん（神奈川県）…5万円
- 岩城孝行さん（静岡県）…1万円
- 岩城貴美枝さん（静岡県）…1万円